

横浜市大佛次郎記念館 令和元年度指定管理業務評価シート（外部評価）

| | 富岡委員 | 中島委員 | 古本委員 | ハッ橋委員 | 米本委員 |
|------------------|--|---|--|---|---|
| Ⅰ 文化事業 (1) | <p>【評価できる点】 大佛次郎研究のための資料の収集、収蔵資料のデータ化などが実行されていることを高く評価したい。 テーマ展示については、大佛文学を多角的に紹介しアピールしている点が評価できる。また、それが来館者の増加につながっている。大佛次郎研究会との連携についても継続し、更なる展開を期待している。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 鎌倉の大佛茶亭がクローズした。鎌倉文士である大佛次郎に横浜と鎌倉の地域文化の連携という観点からも記念館と鎌倉市芸術文化振興財団との協力関係を新たに構築することを提案したい。</p> | <p>【評価できる点】 多様な層への働きかけを工夫し、充実した取組みができたことを評価します。 また、ツイッターやブログの更新にも注力し ICT への対応が徐々に習熟してきたと思います。 (※最近の事例になりますが、2020年12月13日に「赤穂浪士」の文庫について画像入りでツイートしていた内容などが親しみやすさと大佛ならではの情報や味わいを知るうえでわかりやすいとあらためて思います。)</p> <p>【更なる取組を期待する点】 これからの対応として新規性の視点からは、大佛次郎とその作品について「啓発」し関心を誘導する工夫・アイデアの検討をあらためてお願いします。 (※理性的な「啓発」の対極にあるものが「かわいい」などの感性への訴求ですが、「ねこ」に象徴されるかわいらしさを題材にした取組とともに、今一度、あまり構え過ぎずに笑顔にもなれる大佛次郎の作品への「啓発」に向けた取組みを考えてみてください。)</p> | <p>【評価できる点】 様々な角度から大佛次郎の作品や人物像を伝える取組みがなされていて大変良かったです。 特に「大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱」の展示については、全国からの幅広い年代の来館者を獲得することが出来、今後の来館のきっかけにもなる素晴らしい企画だと思いました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> | <p>【評価できる点】 ・刊行自書の全データを登録し、公開した点を評価します。 ・目標観覧数を上回った点、とくにテーマ展示Ⅰにおける発信性の高さやグッズ販売の伸びを評価します。 ・SNS を活用し積極的に情報発信を行った点を評価します。 ・和室公開やミュージアムクイズラリーに際して、窓口で声かけを行い、来館者を誘導した（参加を促した）点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・SNS 等を活用した情報発信が、継続して行われる事を期待します。</p> | <p>【評価できる点】 年度中に新型コロナウイルス感染防止対応による休館があったにも関わらず、テーマ展示の年間目標観覧者数を上回ったことは大変評価できる。現役作家として初めて人気作家の大和和紀さんの作品を取り上げるなど、魅力的な展示を意欲的に行った成果となった。 刊行自著の全データ登録完了は評価できる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルス感染症の影響が長引く可能性が高く、オンラインでの展示物紹介や情報発信などの充実は急務と考える。 大佛茶亭閉館後、ゆかりの地である鎌倉との関係維持を検討したい。観光客も多い地なので、大佛次郎自身の認知度向上にもつながりたい。</p> |
| Ⅱ 文化事業 (2) | <p>【評価できる点】 和室の利用等を積極的に促進していることを評価したい。テーマ企画との連携事業を評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 和室等の貸室利用の促進を見据えた企画展等との連携事業を更に展開していただきたい。</p> | <p>【評価できる点】 クリスマス茶会や撮影利用の回数増など、館独自の記念館らしい企画が功を奏して連携・協力が進んでいます。また、地道な広報活動によって施設自体の認知度も向上している点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 今後は自己評価の課題にもある「山手地区の文化的エリア」化について、その創出のけん引役として機能できるようマネジメントを進めることに期待します。 また、記念館への興味喚起について、施設とマッチしやすいテーマをあらためて抽出しトレンドや身近なところから検討してみてください。 (※今回の横浜英和学院茶道部との取り組みなどがいい例ですが、学校の持つイメージなどと当館の持つ雰囲気などがマッチしているというような観点から、企画や利用営業へとアプローチするのもひとつの方法だと思います。)</p> | <p>【評価できる点】 大佛次郎記念館の建物の魅力を伝えるための事業の拡大の努力が認められます。 今後 SNS による発信等により利用拡大が見込まれると思います。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> | <p>【評価できる点】 ・ミニビブリオバトルに際して、多くの市内小学校にちらし配布を行った点を評価します。 ・テーマ展示Ⅰに際して、ポスター掲出を広範囲に展開した点を評価します。 ・イベントちらしの作成件数が、目標を大きく上回った点を評価します。 ・新刊出版に向けた活動を行っている点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・ポスターやちらし等について、広範囲の情報発信がより多く行われることを期待します。 ・職員全員が、館内の説明や対応をできるようになるための準備を期待します。</p> | <p>【評価できる点】 撮影利用が目標値を大幅に上回ったことは評価できる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 Twitter のハッシュタグは工夫の余地がある。猫は SNS でも人気なので #おさらぎねこだけではなく #猫 #ネコなど見てもらいやすいハッシュタグを工夫した方がよい。 写真映える建物なので、今後はインスタグラムなども活用して「映え」る写真を自ら提供し、PR したい。</p> |

横浜市大佛次郎記念館 令和元年度指定管理業務評価シート（外部評価）

| | 富岡委員 | 中島委員 | 古本委員 | ハッ橋委員 | 米本委員 |
|---------------------|--|--|--|--|--|
| Ⅲ 施設 維持 管理 | <p>【評価できる点】 年間来館者数が目標を大きく上回ったことは、様々な取組みや展示の工夫等の成果である。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に対応が必要となる状況で、今後どのような施設運営が可能か、行政と連携し検討してほしい。</p> | <p>【評価できる点】 年間入館者数、一日当たりの入館者数、団体入館者への解説数など目標を大きく上回ったことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 コロナ対策については令和元年度末時点では実施基準をまとめるところまで至らなかったと思いますが、利用者感染防止対策や現状のような非常時の資料管理について、これからも行政のガイドラインや日本博物館協会のガイドラインなどをもとに、状況に合わせた適切な対応を進めるようお願いします。</p> | <p>【評価できる点】 キャッシュレス決済の拡充により、利用者の利便性と非接触が図れることとなり、時代のニーズに合致することとなったことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルス感染症の影響はしばらく続くものと思われませんが、中でも和室や会議室の利用拡大を模索して頂きたいと思います。</p> | <p>【評価できる点】 ・英文パンフレットをリニューアルした点を評価します。 ・電子マネーやクレジットカードの導入を準備した点を評価します。 ・オリジナルグッズ（クリアファイル）の作成を行い、好調な販売実績につながった点を評価します。 ・研修への参加実績が目標を上回っている点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・オリジナルグッズの開発が、今後も継続して行われること期待します。</p> | <p>【評価できる点】 テーマ展示Ⅰのオリジナルクリアファイル2千枚を完売するなど、販促にも力を入れたことは評価できる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 和室の利用率向上に向けた取り組みを期待したい</p> |
| Ⅳ 維持 管理 | <p>【評価できる点】 施設及び設備の維持管理が適切に行われていることを評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 大規模修繕の可能性についての検討を進めていただきたい。その際は施設の将来的なビジョンを折り込むことを求めたい。</p> | <p>【評価できる点】 一定の対応を実施できたと思います。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 感染症対策の一環として換気の対応を重視する必要がありますが、資料管理の基本になる害虫の侵入や劣化を防ぐことも重要であり、ぜひ換気と合わせて窓や扉の開放を注意しながらオペレーションを継続するようお願いします。</p> | <p>【評価できる点】 館内の老朽化は否めないものの、清掃が行き届き、きめ細やかな維持管理がなされていると感じました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 館内の老朽化を考えると、大規模修繕の必要性及び日常の維持管理に必要な修繕を計画的に進めていく必要があるように感じました。</p> | <p>【評価できる点】 ・職員が一カ所で勤務するオフィス形態を導入し、情報共有を推進している点を評価します。 ・小破修繕の状況について、ホームページやSNS等で外部へ発信している点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> | <p>【評価できる点】 引き続き良好な施設の維持管理に努めてください</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルス感染防止のため、事務スペースでのアクリル板設置など職員の感染防止策もお願いしたい。</p> |
| Ⅴ 収 支 | <p>【評価できる点】 良好な収支バランスの保持を評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルス等の非常事態による休館及び来館者の減少等が今後考えられる。市とそのような事態に対する補填等について十分に協議していただきたい。</p> | <p>【評価できる点】 （行政評価にあるとおり。）</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特にありません。</p> | <p>【評価できる点】 コロナウイルス感染症による臨時休館があったにもかかわらず、おおむね予算通りの執行が出来たことは素晴らしいと思いました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 事務所改修費用として備品購入費が予算よりも1,937,620円も増額しています。今後も老朽化による備品の買替や修繕は避けられないと思いますので、計画的に予算に組入れる必要があると思いました。</p> | <p>【評価できる点】 ・おさらぎ選書の広告掲載社数が目標を上回っている点を評価します。 ・月平均の超過勤務時間が、前年よりも短縮されている点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> | <p>【評価できる点】 初めて文化庁助成金を獲得し、ウェブ広告や講演会なども含めた大型事業を展開できたことは評価できる。 ほかにも積極的な助成金への応募で資金を獲得し、パンフレットリニューアルなどの環境整備につなげられたことは評価できる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 新型コロナウイルスの影響が長期化する可能性があり、助成金等への応募で入館料やショップ売り上げの減少を補う努力が必要になると考える。</p> |

横浜市大佛次郎記念館 令和元年度指定管理業務評価シート（外部評価）

| | 富岡委員 | 中島委員 | 古本委員 | ハッ橋委員 | 米本委員 |
|-----|------|------|------|-------|------|
| その他 | | | | | |

| | 富岡委員 | 中島委員 | 古本委員 | ハッ橋委員 | 米本委員 |
|----|--|---|---|--|--|
| 総括 | <p>有料来館者の増加は大きな成果であり、大佛次郎という横浜、神奈川県のみならず日本国にとって貴重な文学者の存在を様々な角度で紹介し、その研究を進めるための積極的な貢献をしていることを高く評価したい。施設の大規模改修の可能性を市と協議しながら、記念館の将来の方向性の検討に入っていただきたい。</p> | <p>積極的な取り組みができ、かつ習熟度のあがった年だったと思います。これからもこれを踏まえて大佛次郎とその作品への興味・関心を高めていけるよう工夫を凝らした取り組みに期待します。また地域連携も進んだ年だったと思います。さらに地域とともに成長・発展を志し多様なマッチングやコアとしての役割を果たして行ってください。</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の影響下でありながら、次々と魅力的な企画を立ち上げ、来館者数を増加させたことは素晴らしいと思いました。今後どのような企画が提案されるのか大変期待しています。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示Ⅰのような、新たな視点による魅力的な企画が生まれたことを高く評価します。 ・令和元年度は全面閉館や自粛ムードという厳しい事業環境でしたが、その中でも積極的な情報発信を行うなど前向きな活動が多く見られたことを評価します。 | <p>令和元年度は後半に新型コロナウイルス感染予防対応による休館があったにもかかわらず、入館者数の目標をクリアするなど、これまでの取り組みの成果が見える一年でした。新型コロナの影響が長期化しており、展示活動にも困難な時期が続きますが、こういう時代だからこそ大佛次郎の深い言葉を市民に届けられる魅力的な展覧会を期待しています。</p> |

| I 文化事業目標(1) | 評価項目 指定管理者提案(要旨) | 令和1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 説明 | 評価 | |
|-------------------------------|---|---------------------|--------------|--------------|---|---|---|--|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | | 自己評価 | 行政評価 |
| 1 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開 | 資料収集 大佛次郎関連資料の寄贈を随時受付し、情報収集に努め、適切な収集を行う。 | ■おさらぎ選書「資料収集」欄への掲載 | 実施 | 実施 | - | ・30年度受贈資料19点についておさらぎ選書第27集に掲載 ・元年度資料受入3点、購入(原稿)1点 | 【成果】 ・大佛次郎研究を目的とした資料の収集・保管・公開を適切に行いました。 ・IPM(総合的有害生物管理)の手法による地下書庫内の防塵防霉管理を行いました。また委託業者の作業だけでなく職員自身での清掃や毎日の温湿度のチェックを行いました。 ・業務委託により新たに資料整理を進め、職員が業務に集中でき、また展示に有用な資料が発見されました。 ・収蔵品は、テーマ展示のほか「鶴見俊輔セクション」「福島行一コーナー」で活用しました。 ・閲覧室で改元にちなんだ展示やサイン本の展示を行い、閲覧室来訪者に親んでもらう機会を作りました。 ・刊行済み自著について、全データ登録を完了させHPに公開しました。当初はSPレコードのデータ登録を予定しましたが、自著データをまず完結させレファレンスに資することに変更しました。 ・収蔵品の修復については、展示計画や作品保存状態から判断し優先順位をつけて実施しました。 | 【評価できる点】 ・資料の収集、保存及び公開を適切に実施し、目標どおりに業務が遂行されました。貴重な資料の保存と継承に努め、またその公開の実施により横浜の文芸文化の発展に寄与したことを評価します。また、レファレンスサービス件数は目標を上回っており、幅広い層に貴重な資料を提供しました。レファレンスサービスの充実により、広く資料や書籍を提供したことを評価します。 ・前年度から更新を行っているホームページに公開する収蔵資料のデータについて、自著データ登録が完了したことを評価します。平成29年度に構築した整理の枠組みに則り、目標に向けて着実に業務が実行されました。 ・収蔵品展示は、各テーマ展やフランス月間等と関連づけた内容となっており、来館者に興味を持ってもらえるよう工夫がなされていました。 【より一層の取組を期待する点】 ・収蔵資料の適切な保存及び公開に継続して取り組むとともに、資料のデータベースの参照のしやすさ等の観点からの収蔵資料の整理を推進することを期待します。 |
| | 資料保存 ・貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払う。所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保つ。温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行う。 | □毎日2回の点検、記録、調整の実施 | 毎日2回点検、記録、調整 | 毎日2回点検、記録、調整 | - | ・閉館・閉館時に点検・記録・調整を実施 ・特別書庫内使用の出入庫表への記録を実施 ・総合的有害生物管理(IPM)の手法により専門業者による書庫内防塵防霉作業 2回、職員による作業 1回 実施 ・月1回の書庫整理を3月を除き実施 ・収蔵品である長谷川路可作「夏(虹)」「掛け軸」の修復 ・業務委託により新たに資料整理の実施 | | |
| | | ■特別書庫内使用の出入庫表への記録 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■IPMによる防虫防霉対策の実施 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | □地下書庫の清掃と処置作業 | 年2回 | 年2回 | B | | | |
| | | □月1回の資料整理 | 月1回 | 月1回 | B | | | |
| | ■必要な資料の修復 | 実施 | 実施 | - | | | | |
| | ・専門的な観点からの収蔵資料整理 | ■専門的な観点からの収蔵資料整理 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | 展示公開 (1)常設展(収蔵品展) 「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収蔵品展を展示室で実施 | ■年間を通じて順次展示替えを実施 | 実施 | 実施 | - | 「大佛次郎-人と作品-」と題し展示 | | |
| | | ■年3回の企画展に合わせた内容の見直し | 実施 | 実施 | - | ・テーマ展示1期間中は、第二部「大佛次郎と横濱」と題し「開化小説」をテーマに展示 ・1月より大佛次郎賞受賞作にちなんだ「鶴見俊輔コーナー」、大佛研究の第一人者である福島氏のコーナーを設けました。 | | |
| | | □年1回の展示替えの実施 | 年1回 | 年1回 | B | ・展示替 1回「大佛とパリの画家・佐藤敬との交友-日本とフランスの間で」を展示しました。 | | |
| | (2)愛蔵品展示コーナー 大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を愛蔵品展として記念室前展示コーナーで展示 | ■展示替 随時 | 随時実施 | 随時実施 | - | ・常設で展示 ・「花と語らう 大佛次郎の花ごよみ」開催時に、大佛次郎と花の写真を階段側に展示しました。 | | |
| (3)1階ロビー展示 年表パネル・写真パネルの展示 | ■閲覧室での図書の見直し | 実施 | 実施 | - | ・図書閲覧の実施 ・「令和」の万葉集、大和和紀サイン本の展示 | | | |
| 資料公開(展示を除く) (1)閲覧室での図書の見直し | ■「おさらぎ選書」に目録を掲載 | 実施 | 実施 | - | ・目録の掲載 | | | |
| | □ホームページ上で新規に公表するデータ数 | SPLレコード100点以上 | 自著988件の登録 | - | ・自著データ988件を追加し、刊行自著の全データ2,919件を登録・公開しました。 | | | |
| | □レファレンスサービス件数 | 年50回以上 | 69 | A | ・海外からの来館者を含め研究者から一般の方まで、レファレンスに対応 | | | |
| | 資料公開(展示を除く) (1)閲覧室での図書の見直し | ■閲覧室での図書の見直し | 実施 | 実施 | - | ・「令和」の万葉集、大和和紀サイン本の展示 | | |

| I 文化事業目標(1) | 評価項目 | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 | 評価 | |
|---------------------------|---|---|-------------------|----------|--|--|--|------|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | | 自己評価 | 行政評価 |
| 2 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積 | 大佛次郎の作品等に関する調査研究成果の展示、出版、講座・講演等による社会への還元 (1)テーマ展示の実施 | □テーマ展示の実施回数 | 3回 | 3回 | B | ・3回のテーマ展示を実施し、関連イベントや他機関との連携を開催し発信性を高めました。 ・臨時休館となったテーマ展示Ⅲを除き目標観覧数を上回りました。 | 【成果】 ・話題性、独創性のある3回の展示を中心にして、事業を確実に実施し、関連イベントや他機関との連携を展開しました。 ・新型コロナウイルスの影響で閉館となったテーマ展示Ⅲを除き、観覧目標者数を上回りました。 ・テーマ展示Ⅰでは、大佛次郎の開化小説と大和和紀の少女漫画『ヨコハマ物語』を展示でクロスオーバーさせ、小説と漫画という異なる表現方法から開化期ヨコハマの歴史や魅力に迫りました。 クリアファイル付き入館券の販売、ノベルティポストカードの配布、フォトスポットの設置と、原画ファンの期待に応える新たな仕掛けを作りました。 ・文化庁から初めて助成金を獲得し、イベントやトークショーを開催しました。 ・全国から幅広い層の来館者があつたほか、北海道新聞・読売ジュニアプレスから取材があり、発信性の高い事業となりました。 ・有料来館者率が68.0%と極めて高い割合となり、またグッズ販売が好調で収支に大きく寄与しました。 ・テーマ展示Ⅱでは、大佛文学の魅力「草花」に焦点をあて紹介しました。大佛作品の魅力「文字」からも伝えつつ、聴覚＝大佛五郎氏の朗読、嗅覚、触覚＝モイストボブリー、味覚＝フラワーソダなどの形で展開し、文学館の展示に新たな可能性を持たせるしかけを試みました。 ・港の見える丘公園管理者と連携し、エントランスにフラワーポットを設置して公園との一体感を醸成しました。 ・秋の草花の解説と大佛文学にちなんだ史跡をめぐる「秋の花園ウォーキング」が好評でした。 ・テーマ展示Ⅲでは、等身大鞍馬天狗マネキンや2Fサロンでの映画放映など、鞍馬天狗を知らない層にもアピールする展示を行いました。 ・テーマ展示Ⅱに合わせ「花と語らう」を発行し、発売中のブックレットが4冊になりました。草花のエッセイを6編収録し、身近な内容で手に取りやすいスタイルの書籍となりました。 ・テーマ展示、イベントのすべてに記者発表を行いました。発表タイミングも、効果的な時期を見て行いました。 ・WEB媒体への情報提供、Twitter、ブログ、Facebookからの発信を積極的にを行い、発信の頻度を上げました。 【課題】 ・Twitterやブログは身近な話題が中心となりましたが、今後は展示内容や大佛次郎その人にもっと触れる内容を増やしていくことが課題です。 ・2/29休館以降、鞍馬天狗展やねこ写真展の紹介も意識的に増やしましたが、バーチャル美術館のレベルまでは届きませんでした。 ・写真主体のInstagramの導入については、引き続き検討しつつも、文字での発信も大事にしたいと考えます。 | |
| | | □観覧者数 | 17,300人 | 21083人 | A | | | |
| | 企画展(テーマ展示)の開催(年3回) (関連講演・講座等の開催、財団運営施設等の主催講座への出張含む) (1)テーマ展示1 大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱 | □入館者数 | 7,000人 | 11833人 | A | ・観覧者数 11,833人(目標比169%) ・小説と漫画という異なる手法から開港期横浜の歴史や魅力に迫る展示を開催しました。 ・展示解説 9回 84人 ・建物ミニ・ミニ・トーク 5回 34人 ・「ヨコハマ物語」原画フォトスポット 1Fと2F 2か所設置 ・5/6「横浜港とお茶の歴史&美味しいお茶の入れ方講座」開催 ・4/16~6/18横浜市中央図書館での出張展示 実施 | | |
| | | □展示解説 | 各月第2土曜日 | 各月第2土曜日 | - | | | |
| | | □<ミニ・トーク~建築の魅力発見~>実施 | 各月第3土曜日 | 各月第3土曜日 | - | | | |
| | | ■フォトスポットの設置 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■着物ドレスとの連携イベント | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | □横浜開港160周年開港記念日イベント | 1回 | 1回 | - | | | |
| | (2)テーマ展示2 「花と語らう 大佛次郎の花ごよみ」 | □入館者数 | 5,400人 | 7647人 | A | ・クラシカルプリンセスジャポン協力により漫画作中に登場する「きものドレス」2点の展示 ・新日屋協力により漫画作中に登場する「レース半襟着物」「赤い袴」の展示 ・6/2開港記念日来館者へポストカードプレゼント、スタッフがレース半襟着物でおもてなし ・岩崎博物館との相互割引実施 | | |
| | | □展示解説 | 各月第2土曜日 | 実施 | - | | | |
| | | □<ミニ・トーク~建築の魅力発見~>実施 | 各月第3土曜日 | 実施 | - | | | |
| | | ■YouTubeを利用した音声ガイドの導入 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | □ブックレットの作成 | 1冊 | 1冊実施 | B | | | |
| | | □ウォーキングイベント実施 | 1回 | 1回実施 | B | | | |
| | (3)テーマ展示3 「誕生! 鞍馬天狗 みんなのHEROができるまで」 | □入館者数 | 4,900人 | 1603人 | C | ・2/29から臨時休館 ・大佛次郎の代表作のひとつである鞍馬天狗を初期の作品にフォーカスし、HEROになる過程を紹介 ・展示解説 2回 13人 ・建物ミニ・ミニ・トーク 2回 4人 | | |
| □展示解説 | | 各月第2土曜日 | 実施 | - | | | | |
| □<ミニ・トーク~建築の魅力発見~>実施 | | 各月第3土曜日 | 実施 | - | | | | |
| □ブックレットの作成 | | 1冊 | イベントに変更、臨時休館により延期 | C | | | | |
| 7 「おさらぎ選書」の発行 | ■「おさらぎ選書」第27集 「大佛次郎『帰郷』出版70年」 | 実施 | 実施 | - | ・おさらぎ選書第27集発行「大佛次郎『帰郷』出版70年」 | | | |
| | 8 所蔵資料を用いた書籍・論文等の活用実績 (書籍の閲覧室での公開、受付での販売の実施) | ■ミニ冊子「鎌倉通信」、「I Love スポーツ。」「生地そのまま」を継続販売 | 実施 | 実施 | - | 既刊ブックレット3冊の継続販売およびブックレットVOL.1「鎌倉通信」の増刷 | | |
| □テーマ展示Ⅱ、Ⅲに関するブックレット作成 | | 各1冊 | テーマ展示Ⅱで1冊作成 | C | ・テーマ展示Ⅱ ブックレット「花と語らう」100冊作成・販売400冊、テーマ展示Ⅲは企画内容変更によりイベント開催に ・テーマ展示Ⅱ等を中心にタイムリーに記者発表を行いました。 ・テーマ展示Ⅲ等を中心にタイムリーに記者発表を行いました。 | | | |
| 9 | 情報の集積と発信 (1)一般紙誌の掲載につながる話題の提供と積極的な働きかけ。 | □テーマ展を中心に記者発表 | 年3回以上 | 9回 | A | ・即時性のある話題はTwitter、記事として残したい話題はブログ・Facebookと媒体を分けて積極的に発信しました。 | | |
| | | □PRタイムスを活用しWEB掲載を増やす | 年5回以上 | 9回 | A | | | |
| | (2)ウェブ紹介による来館の動機づけ | ■フェイスブック、ツイッターを使った積極的なSNS発信 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | □公式ホームページ情報更新 | 月3回以上 | 月平均4.9回 | A | | | |
| | | □ツイッターでの発信 | 月5回 | 月平均44.1回 | A | | | |
| (3)ブログやSNSを用いたタイムリーな発信 | □ブログ更新回数 | 月5回 | 月平均6.9回 | A | | | | |
| | □フェイスブックでの発信 | 月5回 | 月平均6.9回 | A | | | | |
| | ■公園内の話題、山手西洋館の行事、公園内でのウェディング撮影への積極的な言及 | 実施 | 実施 | - | ・ブログは写真を中心とし、展示の見どころなども記事にしました。 ・港の見える丘公園の草花(リュウゼツラン、バラの開花情報)などを中心に即時性を生かした発信に信しました。 | | | |

| I 文化事業目標(1) | 評価項目 | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 | | 評価 | |
|--|--|---|---------|------|---|---|--|------|--|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | 説明 | 自己評価 | 行政評価 | |
| 3 各種文化的行事の実施 | 指定管理者提案(要旨) 各種文化的行事による大佛次郎及び作品の普及啓発 (1)大佛次郎文学をテーマにしたウォーキングイベント | □開催数 | 年1回 | 実施 | B | ・「花と語らう 秋の花園ツアー」開催 定員20人/応募20人、参加18人 公園を管理するサカタのタネグリーンサービスのスタッフからのレクチャー | 【成果】 ・テーマ展示Ⅱ「花と語らう」関連イベントでは専門スタッフによる草花の話と史跡をめぐるツアーは、内容のバランスが良く、参加者の満足度の高いイベントとなりました。 ・6月開催の大佛次郎賞受賞講演会は、探検家による講演ということで、横浜や鎌倉のアウトドアショップにちらしを置かせてもらい、若い層の来場を促しました。 ・3月開催予定だった大佛次郎賞受賞講演会は、新型コロナウイルス対策のため8月に延期しました。 ・春と秋の和室公開では、窓口に声掛けして誘導し、和室の風情をゆっくり楽しんでもらうことを主眼にしました。 ・秋の和室公開では、展示に寄せて、小説「櫻子」の紹介および企業の協賛による香りの演出を行うことで世界観を楽しんでもらいました。 【より一層の取組を期待する点】 ・「大佛次郎×ねこ写真展」は、今後の事業企画にあたり、定着の一方で、新鮮さを失わないよう、企画を工夫し続けるよう努めてください。 ・今後の事業展開の検討にあたっては、既存の枠組のみに捉われない切り口の事業を展開する等、引き続き新しい発想で企画・立案をしていただくことを期待します。 | | |
| | | □参加者数 | 24人⇒16人 | 18人 | A | | | | |
| | | □開催数 | 年1回 | 1回 | B | ・平成30年度第45回大佛次郎賞受賞作「極夜行」角幡唯介氏講演会 来場303人/券売297枚 ・令和1年度第46回大佛次郎賞受賞作「鶴見俊輔伝」黒川創氏講演会はR2年度実施。 | | | |
| | (2)大佛次郎賞記念講演会 朝日新聞社との共同主催で、大佛次郎賞受賞記念講演会を開催 | □参加者数 | 240人 | 308人 | A | | | | |
| | | ■横浜市開港記念会館講堂での開催 | 実施 | 実施 | - | | | | |
| | (3)大佛次郎研究会公開発表会 | ■大佛次郎研究会との覚書に則り、会議室の利用協力 | 実施 | 実施 | - | ・5/25開催 大佛次郎研究会第32回公開発表会の共催および開催にあたり支援を行いました。 ・大佛次郎研究会会員の入館無料やレファレンスへの協力を行いました。 | | | |
| | | ■年2回開催される研究会公開発表会の共催、支援 | 実施 | 実施 | - | | | | |
| | 施設及び山手エリアの活性化 (1)和室公開(年2回) | □和室公開 春の桜、晩秋の紅葉の時期に和室を公開し、来館者に景色を楽しんでもらう | 年2回 | 2回 | B | ・桜の季節、紅葉の季節に合わせて和室公開を実施しました。 ・秋の和室公開ではテーマ展示と連動した時代小説「櫻子」の紹介と作中の「沈香」にちなんだお香の演出を行いました。 ・春 桜の開花宣言日 H31.3.23~4.12 入館者数2,785人 ・秋 11.24~12.13 入館者数941人 | | | |
| | | □ブログでの発信 | 4回 | 4回 | B | ・和室の様子を写真付きで紹介 | | | |
| | | □ツイッターで発信 | 4回以上 | 4回 | B | | | | |
| | (2)大佛茶亭公開(年2回) | ■テーマ展示毎の茶亭の展示コーナーの展示替え | 実施 | 実施 | - | ・テーマ展示Ⅰにつき茶亭内にミニ展示 ・茶亭クローズにより展示を8/12で終了 | | | |
| | | ■公開日に会場での書籍・グッズ販売の実施および施設パンフレットの配布 | 実施 | 実施 | - | ・鎌倉風致保存会主催の茶亭公開に合わせブックレット販売とちらし配布を実施 | | | |
| その他の事業 子ども対象事業の実施 (1)第7回ミニ・ピリオパトル | □開催回数 | 年1回 | 1回 | B | ・中区北方小、元街小、大鳥小でピリオパトルのデモンストラーションを実施 ・横浜市学校ポストを活用し352校にちらしを配布 ・11/30 ミニピリオパトルを開催 9校から応募11人 参加9人 ・ゲストパトラー4名により、テーマ「草花」でピリオパトル実施 ・8/15・16 各日2回/計4回実施 ・大佛次郎作の童話「白猫白吉」の感想画を描いてもらいました。 | | | | |
| | □開催回数 | 年1回、全4回 | 年1回/全4回 | B | | | | | |
| | □参加者数(各日2回、定員10名) | 30人 | 41人 | A | ・参加者 子ども41人/保護者46人 ・朗読係とイベント補佐に高校生職業体験受け入れ 2名 ・感想画はサロンに展示したほか、令和2年年賀状の図案にしました。 | | | | |
| (2)夏休み子どもアドベンチャー | □実施回数 夏休み子どもアドベンチャーとして実施予定 | 年1回 | 1回 | B | | | | | |
| | □開催回数 | 年1回 | 1回 | B | ・神奈川県博物館協会主催のミュージアムミッション2019に参加 ・参加者数 281人 ・ルールがシンプルになったこと、窓口で積極的に声掛けをした結果、参加者数が前年度の3倍になりました。 | | | | |
| (3)感想画展等、小中学生無料化に伴う、親子の来館を促す企画の実施 | □実施回数 夏休み子どもアドベンチャーとして実施予定 | 年1回 | 1回 | B | | | | | |
| | □開催回数 | 年1回 | 1回 | B | ・2/22より「ねこ写真展2020」をスタートさせましたが、新型コロナウイルス対応により7日間でクローズとなりました。 ・応募点数360点/133人 ・応募写真に18文字コメントをつけてもらい、写真とコメントのコラボを楽しんでもらう趣向を継続。 ・次回展「コンとコト 大佛夫人と白猫物語」とリンクさせ、大佛次郎撮影の愛猫写真や、収蔵品のねこの浮世絵も展示し、猫に寄せた展示としました。 | | | | |
| (4)ミュージアム・ミッションへの参加による来館者増 | ■県博物館協会主催ミュージアム・ウィズラリー2019に参加 | 実施 | 実施 | - | | | | | |
| | □開催回数 | 年1回 | 1回 | B | | | | | |
| その他の事業 観光客や新規来館者を呼びこむ企画 「大佛次郎×ねこ写真展2020」の実施 | □入館者数 | 3,700名 | 432名 | C | | | | | |
| | ■ねこグッズの販売 | 実施 | 実施 | - | | | | | |

| II 文化事業目標(2) | 評価項目 | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 | 評価 | |
|---|--|------------------------------|-------|------|---|---|--|--|
| | | 指定管理者提案(要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | | チェック | 説明 |
| 4 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供 | 13 記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致 (1) 茶会と和室利用促進 | ■茶会利用のSNSでの紹介 | 実施 | 実施 | 実施 | - | ・12/21 レトロな洋館で楽しむクリスマス茶会開催 ・青山学院横浜英和学院茶道部に運営を依頼し、お菓子・抹茶は地元企業から協賛をいただきました。 ・1席400円 来場者66名/100席用意 ・和室半額キャンペーン 期間中の予約9コマ | 【成果】 ・昨年に続き、記念館主催の茶会を催し、和室の魅力を感じていただく機会を作りました。 ・昨年度課題で挙げた負荷を小さくして茶会を開催するアイデアとして、近隣学校茶道部との連携しての開催ができました。 ・和室半額キャンペーンをちらしを作成し積極的に広報しました。期間中の予約が9コマありました。 ・撮影利用件数が前年度から2件増えました。海外バッグブランドのカタログ撮影に加え、大手袴レンタル会社については昨年の営業した成果となりました。 ・テーマ展示Ⅰ関連企画「きものドレス体験」プランを、クラシカルプリンセスジャポンと共同で開発し、撮影利用へとつなげました。 ・例年のユースギャラリー利用・ねこ写真展利用に加え、モイストポプリワークショップと展示に会議室を活用しました。 【課題】 ・和室、会議室ともにリピーターが増えてきていますが、利用例を紹介・発信していくことにより、利用を拡大します。 ・和室・会議室を利用する自主事業をさらに検討します。 ・ベイエリアに開業するラグジュアリーホテルと和室を利用したプランが進行中ですが、利用実績を重ねてビジネスチャンスを生かしたいと考えます。 |
| | | ■期間限定の半額キャンペーン | 実施 | 実施 | 実施 | - | | |
| | 会議室、和室の利用促進 建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します (1) ウェディング撮影 | ■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携し誘致 | 実施 | 実施 | 実施 | - | ・公園隣接のホテルKKR横浜へ営業 | |
| | | ■ホームページでの広報、SNSによる発信 | 実施 | 実施 | 実施 | - | | |
| | (2) ドレス撮影 | □ドレス撮影会等、商業撮影の誘致 | 年5回以上 | 14回 | A | ・呉服の定期利用のほか、ドイツバッグメーカー、大手袴レンタル会社のカタログ撮影がありました。 ・テーマ展示Ⅰ関連企画としてのドレス撮影利用がありました | | |
| | (3) 学校等の利用促進 ボランティアへの会議室の減免提供、小学生ミニ・ピピリオバトル参加校への会場としてのサロン提供 | □小学校内ミニ・ピピリオバトルの会場提供 | 1校 | 1校 | B | ・北方小学校校内決戦にサロンと控室提供 | | |
| | (4) 研究者団体への場の提供 大佛次郎研究会、フランス経済史研究会の活動支援 | ■大佛次郎研究会発表会を共催 | 実施 | 実施 | - | ・チラシの作成、配布のほか発表会資料作成・当日の進行について補助しました | | |
| | (5) 市民文化団体への場の提供 天皇の世紀を読む会の活動支援 | ■メンバー募集広報協力 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | (6) その他 | ■撮影等、特徴ある利用実績を紹介し、施設利用の提案とする | 実施 | 実施 | - | ・許可を得て随時ブログやTwitterで紹介 | | |
| | | ■主催または共催で、会議室の連続利用につながる事業の開催 | 実施 | 実施 | - | ・10/5-9テーマ展示Ⅱ関連イベントのモイストポプリ展示(主催)、2/8-16山手ユースギャラリー(共催)、2/22-4/19大佛次郎×ねこ写真展2020(主催)で利用 | | |
| | レポート利用に向けた方策 (1) 和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 | ■附帯設備の周知 | 実施 | 実施 | - | ・和室茶会利用で問い合わせの多い貸出茶道具について、写真で紹介 | | |
| | (2) 会議室での自主事業の実施(簡易的な展示) | □「大佛次郎×ねこ写真展2020」実施 | 1回 | 1回 | B | ・2/29から新型コロナウイルスの影響で休館 ・Twitterとブログで展示写真の紹介 | | |
| | (3) 会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善。 | ■ご意見を聞く仕組みを整備 | 実施 | 実施 | - | ・和室・会議室利用者へ使い勝手をヒアリング | | |
| (4) ホームページでの情報提供。 | ■ホームページの「和室・会議室空き状況」ページの円滑な運用 | 実施 | 実施 | - | ・遅滞なく運用 | | | |
| ティールーム「霧笛」との連携 (1) 相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 | ■優待券・チケット提示による相互割引の継続 | 実施 | 実施 | - | ・チケット/レシート提示により相互割引継続 ・テーマ展示に合わせた連携メニュー「2色アイスクリーム」「フラワーソーダ」開発 ・ハロウィンウォークでの特製クッキーの販売 | | | |
| | ■団体客や貸館利用者へティールームの利用の呼びかけ | 実施 | 実施 | - | ・貸出案内板にティールームサービス併記 ・夏のおさらぎフラッペの販売継続 | | | |
| (2) 記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 | ■夏季限定大佛フラッペの提供 | 実施 | 実施 | - | | | | |
| (3) 広報協力 当館広報物への情報掲載等の実施 企画との連携メニュー等の相互の活性化に向けた協議 | ■ホームページで情報の継続掲載 | 実施 | 実施 | - | ・ホームページ「和室・会議室の空き状況」を随時更新 | | | |

| II 文化事業目標(2) | 評価項目 | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 | | 評価 | |
|---|--|---|-----------------------------------|------|---|--|---|---|------|
| | | 指定管理者提案(要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | 説明 | 自己評価 | 行政評価 |
| 5 市民協働及び地域とのネットワーク構築 | 17 近隣教育機関との連携 | ■チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を構築。小学生ミニ・ビブリオバトル等の子ども対象事業への参加を呼びかけ。 | 実施 | 実施 | - | ・ミニ・ビブリオバトルのデモを近隣3校で実施 ・学校ポストによるちらし配布 ・ゲストバトラー校へのちらし掲示依頼 ・青山学院横浜英和学院協力による茶会開催 ・北方小への絵画寄贈あっせん | <p>【成果】</p> <p>ミニ・ビブリオバトルは本年度で7回目となり、かねてから働きかけていた近隣校へのデモンストレーションが3校で実現しました。また学校ポストによる広報で市立全小学校352校へのちらし配布効果は大きいものでした。ミニ・ビブリオバトルでは、ゲストバトラー校を2校に増やし、より多様性あるバトルにつなげました。</p> <p>・ハロウィンウォーク、ユースギャラリーへの参加、西洋館のクリスマス装飾に合わせた館内装飾の実施により山手地区との一体感と回遊性を高めました。</p> <p>・テーマ展示 I でクラシックドレスを展示する岩崎ミュージアムと提携し、入館料相互割引と両館来館者へのプレゼントにより協力関係を築きました。</p> <p>・横浜はいからきもの館との共同プランを開発し相互割引を設けました。</p> <p>・テーマ展示 I ポスター掲出先を元町商店街や近隣レストラン、日本大通り駅まで広く展開しました。</p> <p>・公園管理者へ働きかけ、公園内入り口の掲示板に展覧会ちらしを常時掲出が叶い、公園来園者へアピールすることができました。</p> <p>・昨年度に引き続き、財団他施設との連携でサロンコンサートを開催しました。記念館の建物の魅力を伝えるトークをプログラムに取り入れ、また演奏後の時間に展示解説やコーヒーサービスを行うなど、コンサートに付加した施設の紹介の場となりました。</p> <p>【課題】</p> <p>・覚書を締結したシティガイド協会と具体的な取り組みについて検討します。</p> <p>・山手西洋館を統括する横浜市緑の協会・港の見える丘公園を管理する横浜市環境創造局と、山手地区全体をひとつの文化的エリアととらえて継続的なイベントを行えるよう検討します。</p> | | |
| | | 近隣施設等との連携 (1) 横浜山手芸術館への参加 | □横浜山手西洋館ユースギャラリーへ参加し北方小学校の児童作品を展示 | 年1回 | 年1回 | B | | ・2/8-16 山手ユースギャラリーで北方小児童作品の展示来館408人 | |
| | | 18 (2) 山手西洋館(横浜市緑の協会)との連携 | ■横浜山手西洋館ハロウィンウォークへの参加 | 実施 | 実施 | - | | ・「永遠に続く魔法の丘 ハロウィンウォーク2019」参加来館3,495人 ・山手西洋館のクリスマス装飾時期にあわせて館内装飾実施 | |
| | □山手通信への情報掲載 | | 6回 | 6回 | B | ・山手通信への情報掲載実施 | | | |
| | (3) 県立神奈川近代文学館との連携 | ■観覧者の相互割引実施 | 実施 | 実施 | - | ・近代文学館との相互割引の実施 ・テーマ展示 I での岩崎博物館での相互割引、ポストカードプレゼント実施 | | | |
| | | 近隣商店街等との連携 (1) 元町商店街、ホテルニューグランド、霧笛楼、美濃屋あられ製造本舗、横浜高速鉄道等との連携 | ■近隣商店街等と関係性を深め、ポスター掲示や賞品協賛の依頼 | 実施 | 実施 | - | | ・ねこ写真展人気賞への商品提供5社 ・クリスマス茶会への協賛 2社 ・新開設のケアホームへちらし配布 | |
| | (2) ポンパドゥルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた商品の販売継続を働きかける。 | ■冬季限定「ピコリキュールのごほうびサバラン」継続販売を働きかける。 | 実施 | 実施 | - | ・12/5-1/31 ピコリキュールのごほうびサバランの販売 ・館内にサバランのポスター掲示とTwitterで紹介 | | | |
| | | ■ポスターの掲示、ちらし・割引券の配布依頼、相互掲示 | 実施 | 実施 | - | | | | |
| | (3) 近隣ショップにポスターの相互掲示を依頼 | □ポスター掲示 | 2軒 | 6軒 | A | ・元町商店街へのポスター掲示 5店舗 ・近隣レストランへのちらし・ポスター配布依頼 1軒 ・アメリカ山公園建物イベント掲示コーナー・港の見える丘公園へのちらし掲示 | | | |
| | | (4) 横浜高速鉄道(株)との連携 | ■元町・中華街駅構内ポスター掲示 | 実施 | 実施 | - | | ・元町・中華街駅改札口での通年ポスター掲示 ・日本大通駅でのテーマ展示 I ポスター掲示 | |
| | ■他駅へのポスター掲示 | | 実施 | 実施 | - | ・元町・中華街駅中華街方面改札でのねこ写真展2019ポスター掲示 | | | |
| | ■みなとぶらりチケットの団体割引適用 | | 実施 | 実施 | - | ・みなとぶらりチケットの入館料団体割引適用継続 ・ホテルニューグランド「天狗の間」宿泊プランの継続 | | | |
| (5) ホテルニューグランドとの連携 大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかける。 | ■宿泊プランの継続を働きかけ | 実施 | 実施 | - | ・元町霧笛楼、元町香炉庵、香老舗松栄堂のパンフレットの館内置き協力 | | | | |
| 20 研究者団体の文化活動への場の提供 | ■大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定継続 | 実施 | 実施 | - | ・大佛次郎研究会との覚書による協力継続 ・フランス経済史研究会との協力関係継続 | | | | |
| 21 財団施設との連携 | ■「横浜音楽祭2019」関連で連携しサロンコンサートを開催 | 実施 | 実施 | - | ・11/11横浜みなとみらいホール共催「レトロな洋館で楽しむサロンコンサート」開催 フルーツ:上野由恵 38人(チケット40枚完売) 展示解説も併せて実施 | | | | |
| 市民協働 (1) NPO法人横浜シティガイド協会への働きかけ | ■相互協力契約の継続 | 実施 | 実施 | - | ・覚書締結により協力関係を継続 ・当館ちらしを定期的に送付し情報提供 | | | | |
| | ■当館ちらしの送付、イベント紹介 | 実施 | 実施 | - | | | | | |
| 22 (2) 記念館ボランティア組織編成 展示作業、イベント開催のお手伝い依頼 | ■ボランティアメンバーの拡充 | 実施 | 実施 | - | ・素案を作成し、R2年度よりメンバー募集を開始 | | | | |

| II 文化事業目標(2) | 評価項目 | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 | 評価 | |
|--------------------|--|---|---------------------|--------------------------|---|---|---|--|
| | | 指定管理者提案(要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | | 自己評価 | 行政評価 |
| 6 広報・プロモーション活動等の推進 | 広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続。またSNS等を活用したプロモーション活動を行う。 (1) 記念館年間スケジュールチラシ(紙)の配布 (2) 山手通信(紙)へのイベント情報提供 (3) イベントちらし(紙)の作成 (4) ヨコハマ・アートナビ(紙)への掲載 (5) 新聞等掲載 市政記者発表、広報よこはま中区版への情報掲載依頼、タウンニュース中区・西区版への情報提供の実施 | □4か月スケジュール発行 発行回数 | 年3回 各回8,000枚 | 年3回 各回8,000枚 | B | ・年3回 各8,000枚を市内の文化施設、公共施設を中心に配布 ・年6回発行の山手通信へ情報提供 ・イベントちらしの作成 23件 ・ヨコハマアートナビ紙媒体の終了によりWEB版へ随時情報提供 ・記者発表回数 9回(再掲) ・記事掲載件数(WEB含む)638件 | 【成果】 ・展示・イベントについてタイムリーな記者発表を行いました。 ・記者発表とあわせてブログやHPで展示内容の紹介を行いました。 ・ちらし作成件数は目標を大きく上回りました。 | 【評価できる点】 ・チラシの配架など広報活動を積極的に推進したことを評価します。連携先や近隣の学校や企業に広報を行うことで、事業の連携先の拡大や多様性のある企画立案につながりました。 ・ブログの情報更新が目標の2倍以上となったことやケーブルテレビ等のテレビ局からの情報発信が目標を達成したこと等、積極的な広報及びプロモーション活動を推進したことを評価します。 |
| | | □情報提供(再掲) | 年6回 | 年6回 | B | | | |
| | | □イベントちらしの作成 | 年3回 各回8,000枚以上 | 23件 各回6,000~15,000枚 | A | | | |
| | | □年3回全号に情報提供 | 年3回 | 紙媒体休刊によりWEB版で展開 | B | | | |
| | | □テーマ展・ねこ写真展等の記者発表 | 年3回以上 | 9回 | A | | | |
| | ■紹介ビデオをロビーでいつでも鑑賞 | 実施 | 実施 | - | ・日本語・英語の2か国語で開館時にロビーで放映 | | | |
| | ホームページを通じた情報発信及びSNS、ITを活用したプロモーションの実施 (ホームページ、ブログ、Facebook、Twitter、ヨコハマ・アートナビ、ヨコハマ・コードモアートナビ等を活用) | □ホームページ情報更新(再掲) □ブログ、フェイスブック情報更新(再掲) □ツイッター更新(再掲) | 月3回以上 月5回 月5回 | 月4.9回 月6.9回 月44.1回 | A A A | ・ホームページ更新59回(月平均4.9回) ・ブログ/Facebook更新83回(月平均6.9回) ・Twitterツイート数 529回(月平均44.1回) ・テーマ展示 I でFacebookのWEB広告を展開 リーチ数 355,535、クリック数766回/2か月 | ・Twitterは記念館と公園や季節の話題を中心に、月平均44.1回つぶやきました。フォロワー数が321人と、前年度末171%増となっています。 ・テーマ展示 I ではFacebookを使用し、初めてのWEB広告を導入しました。広告を見て当館HPをクリックした数は766人、広告効果とみられる来館調査の結果は831人でした。 | |
| 26 CATV等での情報発信 | □CATV等TV局からの情報発信 | 年3回以上 | TV5回、ラジオ12回 | A | ・テーマ展示のほか、横浜フランス月間関連展示やねこ写真展の情報が取り上げられました。 ・「2019年市民が選ぶ横浜10大ニュース」へ協賛し、記念館ロゴがちらし・WEBに掲載 | 【課題】 ・展示内容に関するSNSの発信を増やしていくことが目標です。臨時休館時に、バーチャル博物館的な発信ができていたらという反省があります。 | | |
| 27 その他の工夫 | ■テーマ展示 II で、YouTubeを利用した音声ガイドを提供(再掲) | 1回 | 1回 | B | ・テーマ展示 II で大佛次郎作品から選んだ文章を5か所でQRコードからYouTubeにリンクして朗読を聴けるコーナーを設けました。 | | | |

| II 文化事業目標(2) | 評価項目 指定管理者提案(要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 説明 | 評価 | |
|---|---|--|--------|------|--|--|--|------|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | | 自己評価 | 行政評価 |
| 7 後世に継承するための記念館の活性化 | 大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備 (1)既刊の販売協力 | ■「500匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫」をはじめ自著や関連書籍の販売協力が普及に努める。 | 実施 | 実施 | - | ・現行の発行書籍についてショップで販売 ・「スイッチョねこ」再販の働きかけ 1社 ・新刊出版の働きかけおよび具体的な出版に向けて準備 1社 ・テーマ展示Ⅱで4冊目となるブックレットを制作・発売 | 【成果】 ・新刊出版に向け、1社と調整を始めました。それに向け臨時休館期間に翻刻を集中的に進めます。 ・4冊目となるブックレット「花と語らう」をテーマ展示Ⅱに合わせて制作、販売することにより、大佛文学にふれていただく機会を作りました。 【課題】 ・これまで電子図書(書籍)のアイデアも検討してきましたが、実現可能性と現時点での普及度を鑑み、ブックレットの定期的な制作・発行を続けることと合わせて、「おさらぎ選書」の充実や新刊発行に向け翻刻を進める方向性を検討したいと考えます。 【成果】 アンスティチュ・フランセの共催により、フランス月間の展示に関連する講演会を実施し、大佛次郎とフランス、二人の女性の生涯を紹介することができ、また在日フランス人コミュニティからの参加者に大佛次郎記念館を知っていただく機会となりました。 ・ハロウィンウォーク、ミュージアムミッションでは、日ごろ当館に入館しない層が多く来館し、施設周知につながりました。 ・団体入館者には、スタッフから声掛けするなど積極的に説明の機会を持ちました。 ・展示解説、建物ミニ・ミニ・トークについて、継続して行いました。 ・文学懇話会では年1回に開催を変更しましたが、パワーポイントを用いた簡潔な説明とし、意見交換の時間を多く設けました。 【課題】 ・団体説明と建物ミニ・ミニ・トークについては、職員全員が対応・説明できるような状態としていくのが課題です。 | |
| | (2)その他 | ■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版への働きかけ ■テーマ展示に合わせてブックレットの発行、販売(再掲) | 実施 | 実施 | - | | | |
| | フランス関連資料の活用 (1)企画展や常設展内展示コーナー等での展示 | ■収蔵品展で展示活用 | 実施 | 実施 | - | ・展示室で洋書の猫の絵本14冊を展示 | | |
| | (2)横浜フランス月間への参加 | □1930年代フランスファッション雑誌のミニ展示⇒「大佛次郎とフランスを愛する仲間たち」 | 実施 | 実施 | - | ・6/8-7/28 横浜フランス月間2019への参加 ・「大佛次郎とフランスを愛する仲間たち 横浜・リヨン姉妹都市締結60周年を記念して」と題し大佛次郎とキク・ヤマタ、滋野ジャンヌとの交流を取り上げました。 ・6/15「キク・ヤマタの生涯と作品」講演会をアンスティチュ・フランセ共催で開催 26人 | | |
| | 若者の来館促進 スタンプラリー等参加 | ■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加 | 実施 | 実施 | - | ・7/20-8/31ミュージアムミッション2019 参加者281人 ・10/27 山手ハロウィンウォーク2019 参加者3,495人 ・4/26 謎解きバス巡り「絵本から消えた赤い靴」クイズポット協力 | | |
| | 「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承 | ■ポンパドウル、ティールーム霧笛での企画商品販売継続(再掲) | 実施 | 実施 | - | ・8月ティールーム霧笛「おさらぎフラッペ」の販売 ・12-1月ポンパドウル「ごほうびサバラン」の販売 | | |
| | | ■ねこ写真展期間の「ねこからの挑戦状」配布(追加実施) | 実施 | 実施 | - | ・「大佛次郎×ねこ写真展2020」会期中の配布(2/22-2/28、以降臨時休館) | | |
| | 子どもたちが記念館に集う取組(再掲) | 「3 各種文化的事業の実施」及び「5 市民協働及び地域とのネットワーク構築」記載内容と同 | | | | | | |
| | 記念館オリジナルキャラクター「くらまくん」の活用による記念館のイメージアップ | ■「鞍馬天狗シリーズ」復刊を記念した缶バッジ配布キャンペーンの継続 | 実施 | 実施 | - | ・缶バッジの継続配布 | | |
| | | ■イベント参加者にくらまくん絵葉書または缶バッジプレゼント | 実施 | 実施 | - | ・子どもアドベンチャー参加者に缶バッジ4種のうち1つプレゼント | | |
| | スタッフの展示案内によるリピーターの確保 | □団体入館者に対する解説 | 年20回以上 | 66 | A | ・団体入館者への解説の実施66回、テーマ展の解説18回、建物、ミニ・ミニ・トーク 13回実施 ・修学旅行生、大学ゼミでの見学、鎌倉シティガイド協会メンバーなど積極的に対応しました。 | | |
| | | □テーマ展示のミニ解説実施 | 年9回以上 | 18 | A | | | |
| | | □建物に関するミニ解説実施 | 年9回以上 | 13 | A | | | |
| | 愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開(再掲) | 「3各種文化的事業の実施」記載内容と同 | | | | | | |
| 収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会(会員構成:メディア・有識者等・市)の意見、年次評価等を活用したPDCAサイクルの構築 | ■個別事業評価システムによる自己評価の実施(計画書に記載なし) | 随時実施 | 随時実施 | - | ・個別事業評価システムにより、事業計画から事業報告まで取支を含めて事業ごとの執行管理を行いました。 ・文学懇話会 6/21開催 要綱を変更し年2回から1回に開催を集約 ・年次評価について適切に開催 | | | |
| | □文学懇話会の開催 | 実施 | 実施 | - | | | | |
| | ■年次評価の実施(自己評価、行政評価、外部評価) | 実施 | 実施 | - | | | | |

令和元年度 横浜市大佛次郎記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| Ⅲ施設運営目標 | 評価項目 指定管理者提案(要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 説明 | 評価 | |
|---|--|--|------------|----------|------|--|--|---|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | | 自己評価 | 行政評価 |
| 1 観覧及び市民・市民団体の教養活動のための施設の提供 | 1 観覧施設の提供 | ■大きな事故なく開館 | 実施 | 実施 | — | <ul style="list-style-type: none"> ・事故0件 ・和室27.1%(未達)、会議室36.9% ・ねこ写真展で会議室の貸出ができない期間に和室半額キャンペーンを実施し、9コマの予約がありました。 ・レファレンスサービス 69件に対応 ・年間入館者数 25,593人(前年度比3,534人減) | 【成果】 ・安全面に配慮し、事故やトラブルなく施設運営を行いました。 ・前広に広報を行い、会議室が使えない期間の和室半額キャンペーンを実施しました。 ・2月初めより新型コロナウイルスの影響が見え、借り控えやキャンセルが増えました。2/29からは臨時休館となり貸出停止となっています。 ・年間入館者数は、コロナウイルスで2月の最終土曜日から休館したため、ねこ写真展による入館者アップがなくなり、入館者目標値は達成したものの前年度より人数が落ち込みました。 | 【評価できる点】 ・リピーターの定着を図ったほか、撮影利用等にも対応し、会議室の利用率向上に尽力したことを評価します。また、和室の利用率向上のための半額キャンペーンなどのサービスを継続した点を評価します。 ・年間入館者数が25,000人を超え、目標を上回ったことを高く評価します。2月下旬から1ヶ月の休館がありましたが、目標を大きく上回ったことは、これまで行ってきた様々な取組が入館者増につながった一つの成果の表れだと考えます。 ・入館料の決済手段としてsuica、PayPay対応を継続したことに加え、新たに電子マネーとクレジットカードを導入し、利用者の利便性の向上を図ったことを評価します。 ・個人情報の漏えい件数がゼロ件など、コンプライアンスをはじめとする組織運営もしつかりとなされています。 |
| | 2 和室及び会議室の積極的な貸出、レファレンス対応(広報協力、感想・ご意見の収集、ホームページでの空き状況情報提供サービス等によるリピート利用促進等) | □目標利用率 和室 | 35%(日) | 27.1% | C | | | |
| | □目標利用率 会議室 | 37%(日) | 36.9% | B | | | | |
| 2 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用 | 3 入館者数の増 | □年間入館者数 | 19600人 | 25593人 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ねこ写真展開催期間にメールニュース登録キャンペーンを実施 年度末登録者数141人(前年度比28人増) ・メールニュース発行 6回(号外1回含む) ・来場者アンケートは翌月初めに集計し情報を共有 ・アンケートフォームに「男性」「女性」に加え「その他」を設定 ・テーマ展示Ⅰ後期 アンケート回答でポストカード ・テーマ展示Ⅱアンケート回答で抽選で花の種類 ・テーマ展示Ⅲ・ねこ写真展でアンケート回答でふせん ・ブログで茶道具を紹介(再掲) ・神奈川県補助金により英文パンフレットをリニューアル ・団体入館者への解説実施 66回(再掲) ・臨時休館により3月実施不能 ・Wi-Fiを活用したオーディオガイドの提供 ・Wi-Fiを活用した2Fギャラリー監視カメラ ・Suica、PAYPAY 運用 ・3月電子マネー・クレジットカードの導入準備完了 ・テーマ展示Ⅰの漫画原画をデザインしたオリジナルクリアファイルを作成し販売しました。窓口での積極的な販促が奏功し、計2000枚が完売しました。 ・クリアファイルと入館券をセットにしたお得な商品も好評でした。 | 【課題】 入館料の上限金額が横浜市の条例で決まっているため、特別展にあたる催しでは、入館料に付加価値をつけて販売する方法を、引き続き検討します。 | |
| | 4 施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内強化による利用促進(貸出施設の案内、ホームページへの撮影等の利用案内の掲載等) | ■メールマガジン登録者増加のためのキャンペーン | 実施 | 実施 | — | | | |
| | 5 アンケート等による利用者ニーズの把握(和室無料公開の継続、会議室の学校関係の利用の促進、利用者へのアンケート及びインタビュー調査の実施等) | ■来場者に対するアンケートを実施。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを実施 | 実施 | 実施 | — | | | |
| | 6 要望・苦情への対応(要望・苦情の館内・財団・市との適切な共有と対応) | ■改善事例をホームページ、SNS等で情報発信 | 実施 | 実施 | — | | | |
| | 7 案内・説明表示の外国語表記対応 | ■即時対応 ■館内・財団・市と共有、協議 | 実施 | 実施 | — | | | |
| | 8 展示解説や団体向け解説を実施(再掲) | ■英語版案内パンフレット配布 | 実施 | 実施 | — | | | |
| | | ■1フロビーの英語表記の継続 | 実施 | 実施 | — | | | |
| | 9 Wi-Fiアクセスポイントの適切な運用 | □団体入館者に対する解説(再掲) | 年20回以上 | 66回 | A | | | |
| | 10 電子マネー決済の適切な運用 | ■お客様ニーズに則した解説 | 実施 | 実施 | — | | | |
| | 11 施設の魅力を向上 | (計画書に記載なし) | (計画書に記載なし) | 実施 | — | | | |
| | 12 オリジナル商品の開発及び図書の販売(話題性のある商品の開発・販売、一般書店では手に入りにくい図書類の販売、文庫本へのオリジナルカバー付加、通販対応の継続とホームページでのPRの実施) | ■調度品類を必要に応じ修繕・更新 | 随時実施 | 調度品の補修なし | — | | | |
| □オリジナルグッズ新規開発数 | | 1アイテム以上 | 1アイテム | B | | | | |
| ■「大佛次郎と猫」の販売メリットを享受するための積極的な宣伝の実施 | | 実施 | 実施 | — | | | | |
| ■一般の書店で手に入りにくい図書類を販売 | | 実施 | 実施 | — | | | | |
| 13 エントランスでの利用促進及びサービス向上の取組(大佛次郎の愛用品展示、大佛次郎の紹介映像の放映) | ■魅力的なディスプレイの工夫 | 実施 | 実施 | — | | | | |
| | ■愛用品展示、オリジナルグッズ紹介 | 実施 | 実施 | — | | | | |

| Ⅲ施設運営目標 | 評価項目 指定管理者提案(要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 説明 | 自己評価 | 行政評価 (評価は前ページに記載) |
|--------------------------|--|--|-----------------------------------|----------------|-------------|---|--|----------------------|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | | | |
| 3 組織的な施設運営 | 14 適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、事務職員2、研究員2、研究室補助員1、特任研究員1、専門員1、カルチャースタッフ4) | □館内会議(研究室会議、合同会議、企画会議) | 研究室会議:月1回 合同会議:月1回 企画会議:月1回 | 各1回 | B | ・記載どおり実施 | 【成果】 ・目標どおり実施しました。 ・積極的な研修参加を促し、職員の意識の向上や財団内外との関係を作ることができました。 ・テーマ展示Ⅱでは「五感で味わう」をテーマにしたことで館主催の「視覚障がい者を理解する研修」を開催したほか、大船フラワーパークでの研修にも参加し、事業の企画・運営に生かしました。 | |
| | 15 文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員的能力向上のため、研修を実施。(OJT、MBO、財団・市実施の研修、外部研修への参加) | ■業務として必要な専門知識向上や資格取得のため、費用対効果も見極めながら、積極的な受講・取得を推進 | 実施 | 実施 | - | ・業務を行う上で有用な研修を積極的に受講(神奈川県博物館協会研修『五感で感じる植物園』、視覚障がい者を理解する研修、IPM、美術系専門人材研修、広報研修、やさしい日本語研修) ・企画運営に参考となる事業の視察の実施(大佛次郎作の歌舞伎「たぬぎ」、におい袋ワークショップ) ・全国文学館協議会総会、研修へ参加 2名 ・高い専門能力を有する職員の配置 2名 ・神奈川県博物館協会からの呼びかけ「川崎市民ミュージアム・レスキュー」は作業による健康リスクが把握できないため参加を見合わせました。 | | |
| | 16 事務室、研究室共通業務に必要な資格取得に向けたバックアップの実施 | ■全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化の実施 | 実施 | 実施 | - | | | |
| 4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組 | 17 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施 (1)個人情報保護 個人情報取扱マニュアルの作成と年1回以上の改定・見直し及び職場内研修の実施、個人情報の適切な取り扱いによる事故防止 | ■個人情報漏洩などに関する事故 | 0件 | 0件 | B | ・個人情報に係る事故 0件 ・個人情報を含む書類の施錠保管の徹底 ・個人情報や見積、経理書類は袋に入れて回覧 ・個人情報保護研修実施 年1回 | ・財団事務局からの紹介で、CO2排出ゼロマークを掲出したチラシを初めて作成し、環境への取り組みをアピールしました。 【課題】 ・印刷物の適正な枚数での発注や、展示資材の再活用のほか、CO2排出ゼロマークの継続取得を目指します。 ・業務に直結しない内容であっても、専門性や視野を広げるために研修参加を奨励します。 | |
| | (2)情報公開 | ■業務計画書・報告書、収支報告書のホームページでの公開を実施し、PDFのダウンロード可能に | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 | | |
| | (3)人権尊重 横浜市主催の人権講演会への職員の参加、職場内研修の実施、受付職員を対象とした接客研修の毎年度の実施 | □研修への参加 | 年1回 | 2回 | A | ・テーマ展示Ⅱの企画趣旨に寄せて「視覚障がい者を理解する研修」を館独自で開催 ・やさしい日本語研修を受講 | | |
| | (4)省エネルギー・節電 節電への取組、クールビズ及びウォームビズの実施と来館者への取組周知 | ■節電、節水の意識 | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 ・電気料金については事務局主体で年度で入札実施 | | |
| | (5)ごみ 「ヨコハマ3R夢プラン」に基づく取組の実施、ごみの軽減化の取組、印刷・コピーの適切な節制、文書の適切な処分 | ■印刷・コピーの裏紙利用による古紙の減量化 ■裏紙の適切な利用と裏紙ストック箱の設置 ■ゴミ減量を視野にいれた展示方法の模索 | 実施 実施 実施 | 実施 実施 実施 | - - - | ・ねこ写真展開催ちらし「カーボンオフセットにより制作に伴うCO2排出ゼロ」マークを掲出(オフセットクレジットの提供者アズビル株) ・展示資材の再利用 | | |
| | (6)市内中小企業優先発注 特別な専門性が必要な契約等を除く発注の市内中小企業への優先 | ■特別な専門性が必要な契約等を除く発注についての市内中小企業への発注への努力 | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 | | |

| IV維持管理目標 | 評価項目 指定管理者提案(要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | | 実施状況 説明 | 評価 | |
|---------------------|---|--|------|-------|--|--|---|------|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | | 自己評価 | 行政評価 |
| 1 施設及び設備の維持保全及び管理 | 1 施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施 | ■施設運営に支障がでないよう管理 | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 | 【成果】 ・遺漏なく施設管理を行いました。 ・施設や設備の問題点は、横浜市および財団事務局とすみやかに情報共有を行いました。 ・横浜市施工により、懸案であった「和室外壁防水工事・聚楽壁補修工事」および「2F漏水防止補完工事」を実施いただきました。 ・死角のある地階への不審者侵入対策として入り口に防犯用にアコーディオンカーテンを設置しました。 ・1F事務室を改装し、事務所と研究室に分かれていた職員が一か所で勤務するためフリーアドレスオフィスを導入しました。迅速な情報共有と意思決定ができるようになりました。 【課題】 ・建物の経年劣化に関して、2Fサロンの窓面漏水が喫緊の課題です。大規模修繕の可能性を見据えながら、費用負担や時期について横浜市と調整を進めます。将来的にはトイレやエレベーターなどのバリアフリー設備の検討も行うべきと考えます。 ・開館から42年を数え老朽化が進みますが、小さな不具合は見逃さず対応し、必要な修繕を速やかに実施するように努めます。 | |
| | | ■建設40年以上経過し、建物、設備、備品に劣化が進んでいるので、安全を優先した修繕を検討 | 実施 | 実施 | - | ・事務室改修工事 ・和室外壁防水工事、研究室入り口防犯用カーテン設置 ・会議室、2Fギャラリーのエアコン修理 ・ティールーム水道、外階段修理 | | |
| | | ■必要に応じ市と協議 | 実施 | 実施 | - | ・横浜市による和室外壁防水および聚楽壁補修工事、2F漏水防止補完工事 施工 | | |
| | 2 (3)大佛次郎遺品類及び関係資料の適切な管理(日常的な確認・点検の実施) | □物品管理簿と現品との照合による棚卸 | 年1回 | 年1回実施 | B | ・記載どおり実施 ・収蔵品の修復 長谷川路可の掛け軸「夏(虹)」 ・2/29以降臨時休館のため、関係資料の管理については3月中20日間実施 | | |
| | | ■在庫管理 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■毎日2回の点検、記録、調整の実施 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■特別書庫内使用の出入庫表への記録 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | (4)施設設備の不具合早期発見のための自主点検の実施 | □IPMIによる環境管理(再掲) | 年2回 | 年2回実施 | B | | | |
| | | □月1回の資料整理 | 月1回 | 月1回実施 | B | | | |
| | 3 適切な環境維持管理業務の実施 (1)業務の基準の遵守及び見回りによる清掃の即時対応の実施 (2)公園の管理区域内の環境維持、公園管理者との連絡調整 | ■資料修復実施 | 実施 | 実施 | - | | | |
| □不具合早期発見のため自主点検実施回数 | | 月1回 | 月1回 | B | | | | |
| ■自主点検内容の財団事務局との情報共有 | | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 ・2/29以降の休館中は委託による清掃業務は休止し職員による自主清掃 | | | |
| 2 小破修繕の着実な実行 | 小破修繕の取組 (日常点検で把握した故障等への都度対応による修繕費等の支出抑制、財団のサポートによる効果的・効率的な修繕の実施) | ■随時実施 | 随時実施 | 随時実施 | - | ・記載どおり実施 ・2Fサロン窓側漏水については情報共有を密に行い、対応を検討中 | | |
| | | □不具合早期発見のため自主点検実施回数(再掲) | 月1回 | 月1回実施 | B | | | |
| | | ■修繕等の実施に際しての横浜市と情報共有し、迅速な対応の実施 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■実績をホームページ、SNS等を通じ積極的に情報発信(追加実施) | 実施 | 実施 | - | ・和室聚楽壁の補修についてSNSで発信予定でしたが臨時休館により取りやめました。 ・屋上漏水工事のようすをTwitterで発信 | | |
| 3 事故予防及び緊急時の対応 | 事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施 (1)全体管理について (2)危機管理マニュアルの整備と必要に応じた改訂 (3)職員及びカルチャースタッフによる館内の見回り・点検の実施 (4)インフルエンザ流行時のポスター掲示、鳥インフルエンザへの留意、ノロウイルス対応の準備と2次感染防止策の徹底 (5)緊急時の連絡体制 財団事務局職員の必要に応じた派遣、関係各所との緊急連絡網の作成と緊急時の速やかな報告・相談の実施 (6)AED設置及び研修 消耗品等の定期的な更新・交換、財団主催の操作研修への全員参加 | ■施設運営に支障がでないよう管理 | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 ・緊急連絡網に加えてグループLINEを作成 ・2/29以降の臨時休館時は3月中20日間について巡回点検を実施 | | |
| | | ■改定マニュアルを整備し共有 | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | □館内巡回 回数 | 1日4回 | 1日4回 | B | | | |
| | | ■消毒液と石鹸の備え置き | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■緊急連絡網の備え置き | 実施 | 実施 | - | | | |
| | | ■スタッフ全員が研修受講済みの状態 | 実施 | 実施 | - | | | |
| 4 防災に対する取組 | 日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施 (1)危機管理マニュアルの適宜見直し及び改訂 (2)避難訓練 自衛消防組織の結成、防災計画の作成、危機管理マニュアルに基づく年2回の避難訓練の実施 (3)緊急事態に備えた飲料水、非常食、毛布等の備蓄 | ■改定マニュアルを整備し共有(再掲) | 実施 | 実施 | - | ・記載どおり実施 ・新型コロナウイルスの予防のため、防災訓練に合わせて感染症対策の心構えを確認しました。 ・かながわシェイクアウト・横浜市伝達訓練に参加 | | |
| | | □防災訓練 実施回数 | 年2回 | 年2回 | B | | | |
| | | ■備蓄管理 | 実施 | 実施 | - | | | |

| V収支 | 評価項目 指定管理者提案(要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | | |
|---------------------|---|---|-----------|-----------|--------|--|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック | |
| 1 適切な収支構造及び収支バランス | 適切な収支構造及び収支バランス | ■緊急性・必要性の観点で経費執行し年度の収支計画に準じて、適切な収支管理を行う | 実施 | 実施 | - | ・適切な予算管理、執行 ・事業ごとの予算執行管理の実施 |
| 2 指定管理料にのみ依存しない収入構造 | 指定管理料のみに依存しない収入確保の取組 (1) 利用料金収入の確保 有料入館者増に向けた取組の実施 | ■「大佛次郎×ねこ写真展2020」の開催による新たな入館者層の開拓 | 実施 | 実施 | - | ・ねこ写真展が開催1週間で休館となり、入館料およびグッズの収益が見込めませんでした。(ショップ売上 前年度3月265,000円) ・おさらぎ選書広告掲載6社獲得(前年度と同数) ・テーマ展示 I 開催にあたり芸術文化振興基金より180,000円獲得 |
| | (2) おさらぎ選書への広告掲載、企画展の協賛 | □広告掲載 | 5社 | 6社 | B | ・英文リーフレット作成にあたり神奈川県外国人観光客受入環境整備費補助金として43,000円獲得 ・秋の和室公開に香老舗・松栄堂よりお香の現物協力 ・クリスマス茶会に栗田園・元町香炉庵より現物協力 ・事務局より、よこはまシニアボランティアポイントによる寄付金20,000円獲得 |
| | (3) 企画展への協賛依頼、助成金への積極的な応募 | ■イベント協賛依頼 | 実施 | 実施 | - | |
| | (4) ショップ売上目標の設定 | □目標金額 | 2,700,000 | 2,376,547 | C | |
| 3 経費削減及び効率的運営努力 | 経費削減等効果的運営の努力 (1) 発注、事務処理上の留意点 契約にかかる経費削減、支払い時の事務処理時間及び振込手数料の削減、計画的な発送処理による作業時間及び郵送経費の削減、廃棄物の削減 | ■在庫管理の徹底 | 実施 | 実施 | - | ・記載どおりに実施 ・電気使用量は、H30年度7-8月が記録的猛暑だったためR元年度はマイナス、R元年度3月は休館の影響でマイナスとなっています。 ・超勤の事前申請、休日出勤の事前振替日申告の徹底 ・新型コロナウイルス対策のため、3月は時差出勤・アルバイト、カルスタの自宅待機を命じました。 |
| | (2) 施設、設備管理上の留意点 早期対応による設備の長寿命化の実現と修繕費の節制 省エネルギーのための取組と光熱費の節減(管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげる) | □節電・節水の意識 指標: 使用量前年度比 | 実施 | 実施 | - | ・契約の見直しにより、警備および清掃業務において契約金額の前年度比マイナス |
| | (3) コスト意識 職員の超過勤務削減、業務分担の平準化、業務の外注化等の促進、効率的で適切な勤務体制の実施 | ■労務管理を適切に行い、長期時間の削減を図る ■経費執行状況について情報共有 | 実施 実施 | 実施 実施 | - - | |

| 評価 | |
|--|--|
| 自己評価 | 行政評価 |
| <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業ごとに緻密な執行管理を行いました。 ・テーマ展示 I では初めて文化庁助成金を獲得し、WEB広告、講演会、フォトスポットの設置と、さまざまな事業・イベントを実施することができました。 ・神奈川県助成金の半額補助により、英文リーフレットをリニューアルすることができました。 ・秋の和室公開やクリスマス茶会での企業協賛など、地元企業との関係性を大切にしながらご協力をいただきました。 ・新型コロナウイルスによる臨時休館は、ねこ写真展の入館者およびねこグッズの売上が多い時期であり、収入に大きな影響が生じています。 <p>【課題】</p> <p>特筆すべき事項なし</p> | <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通じて、良好な収支バランスを達成できました。 <p>【より一層の取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館がありましたが、収支差額に大きなマイナスは発生しませんでした。今後も効率的な資金計画を立て、収支のバランスに配慮した予算執行に努めてください。 |

| その他 | 評価項目 特記(提案事項要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | |
|-----|--------------------|--------|----|------|------|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック |
| | | | | | |

| 評価 | |
|------|------|
| 自己評価 | 行政評価 |
| | |

| 総括 | 評価項目 特記(提案事項要旨) | R1年度計画 | | 実施状況 | |
|----|--------------------|--------|----|------|------|
| | | 達成指標 | 目標 | 実績 | チェック |
| | | | | | |

| 評価 | |
|---|---|
| 自己評価 | 行政評価 |
| <p>3つの企画展を中心に、充実した事業実施と堅実な施設運営を展開しました。とりわけテーマ展示 I においては、小説と漫画という異なる手法で開化期ヨコハマの歴史と魅力に迫り、初めての現存作家、初めての漫画作品、初めての助成金獲得と、今までにない意欲的な企画でした。全国から1万人以上の来館者があり、大佛次郎と作品について知っていただく絶好の機会となりました。</p> <p>また、収蔵品の調査・研究について目標に沿って取り組んだほか、文学館としての使命でもある読書の楽しさを伝えるためのミニ・ビブリオバトル開催、ブックレットの作成を継続して行いました。</p> <p>令和元年度の成果として、事業・イベントやミニ・ビブリオバトルの開催において、地域の企業・団体、教育機関との連携の芽を見つけ出し、協力を深められた点があります。今後も事業において良い関係性を維持・継続していきたいと考えます。</p> <p>施設利用については、和室の利用率が目標に届きませんでした。新設ホテルに新たな利用形態での提案を行うなど、今後期待できる要素もあります。引き続き積極的な広報・営業活動に努めます。</p> <p>2/29から新型コロナウイルス感染予防のため全館閉館となり、事業執行・収支に大きな影響が出ています。R2年度以降の展示計画も見直しを余儀なくされている状況ですが、開館後速やかに企画・イベントを立ち上げるべく準備をすすめています。</p> | <p>1年間を通じて充実したテーマ展等の企画を着実に実施するとともに、安定的な施設運営を行いました。特に、テーマ展示 I については新しい取組を企画に盛り込んだことで、新たな層の来館につながりました。また、課題でもあった有料入館者数増にも大きく貢献しこれまでの取組の成果が結実していることを評価します。出版を取り巻く現況等、厳しい状況はありますが、施設の使命として、大佛という作家の魅力により多くの人に伝え、後世に残していくことを今後も実現するために、引き続き入館者増に向け、新たな切り口での魅力ある展示企画について積極的な検討を行ってください。</p> <p>また、本年度は積極的な働きかけにより地域企業や団体等と連携、協力が深まりました。立地を生かし、今後も地元との連携を推進することで、施設の周知や魅力向上に資する取組の強化にも期待します。</p> <p>和室等の施設利用率向上の課題はありますが、今後ともこれまでの取組を継続、深化させることで、魅力ある文学館としての機能、役割を果たしてください。</p> <p>元年度は、新型コロナウイルス感染予防により全館閉館がありました。公共施設として適切な対応を行うとともに状況に合わせた柔軟な企画の実施を期待します。</p> |